

平成 20 年度当初予算主要事項

5 1 3 科学技術交流の推進

(主担当部 : 農水商工部)

- 51301 研究交流の推進 (農水商工部)
- 51302 知的財産に取り組む環境づくり (農水商工部)
- 51303 科学技術への関心の増進 (農水商工部)
- 51304 科学技術基盤の整備 (農水商工部)

< 施策の目的 >

- (対象) 県民、企業、高等教育機関、公設試験研究機関などが
- (意図) 科学技術に関する理解や交流を深め、連携している

< 施策の数値目標 >

| 施策目標項目 (主指標) | | H18 年度 | H19 年度 | H20 年度 | H22 年度 |
|----------------|-----|--------|--------|--------|--------|
| 産学官連携共同研究件数 | 目標値 | - | 50 件 | 50 件 | 50 件 |
| | 実績値 | 50 件 | 50 件 | | |

科学技術振興センターと県内企業、高等教育機関等との研究プロジェクトおよび共同研究の件数

| 県の取組目標項目 (副指標) | | H18 年度 | H19 年度 | H20 年度 | H22 年度 |
|------------------|-----|----------|----------|----------|----------|
| 産学官連携研究会数 | 目標値 | - | 10 グループ | 10 グループ | 10 グループ |
| | 実績値 | 10 グループ | 10 グループ | | |
| 一般公開講座等への参加者数 | 目標値 | - | 11,000 人 | 11,000 人 | 11,000 人 |
| | 実績値 | 10,771 人 | 11,000 人 | | |

共同研究等の立案に向けて、企業・行政のニーズと大学・公設試験研究機関等の研究シーズのマッチングの場となる研究会の設置数

科学技術振興センターが実施する一般公開講座、施設公開、子ども科学体験教室、出前科学体験教室等への参加者数

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・ 科学技術に関する県民の理解や研究者・研究機関の交流の促進に努めてきました。
- ・ 社会や環境の急激な変化が進展する中で、県民生活の向上や産業の高度化を進めるためには、県民の科学技術に関する理解を深め、科学技術を育み発展させる風土や知的財産を大切に環境づくりが必要です。
- ・ このため、多様な主体の「知恵のであい (マッチング)」の場づくりや分野横断的なネットワークづくりを進め、研究交流や共同研究を推進するとともに、知的財産の創造・保護・活用につながる取組を充実していく必要があります。
- ・ 科学技術の振興には県民の理解と参画が不可欠であることから、県民への情報発信などを通じ、コミュニケーションの充実をはかることが重要です。
- ・ こうした課題に取り組むためには、その基盤となる人材の育成や研究施設等の整備を進めていくことが重要です。

< 平成 20 年度の取組方向 >

持続的・発展的な産学官連携システムを構築するため、多様な交流の場を設定し、産業界・

高等教育機関等の研究者など多様な主体のネットワークづくりを進めます。同時に、計画的かつ戦略的な研究連携を行うため、研究コーディネート機能や研究企画・立案力を一層強化し、共同研究・プロジェクトの推進や国等の競争的研究資金の獲得をめざします。

平成 17 年度に策定した「三重県知的財産戦略ビジョン」に基づき、知的財産を大切にし、関心を高める環境づくりを展開して、「新しい知恵」、「独自の知恵」を活用した地域課題の解決や産業の知識集約化につなげます。

県民の科学技術に対する興味や関心を高めるため、「子ども科学体験教室」や科学技術に関するセミナーの開催、インターネット等を活用した科学技術情報の提供などを行います。

科学技術の交流の基盤である研究人材の育成や施設・設備等の整備に計画的に取り組みます。平成 16 年度から整備を行っている畜産研究部においては、中小家畜舎（豚・鶏を飼養）の整備を進めます。

<主な事業>

競争的研究プロジェクト推進事業費 【基本事業名：51301 研究交流の推進】

（第 7 款 商工費 第 1 項 商工業費 8 科学技術振興費）

予算額： 87,708 千円 118,997 千円

事業概要：研究プロジェクトの立案・申請・獲得に向けて、研究コーディネータの設置、大学等高等教育機関、公設試験研究機関、企業等とのコーディネート、プロジェクト育成試験などを行います。（プロジェクトに向けた育成試験 2 件など）

次世代真珠養殖技術とスーパーアコヤ貝の開発・実用化研究事業費

【基本事業名：51301 研究交流の推進】

（第 7 款 商工費 第 1 項 商工業費 8 科学技術振興費）

予算額： - 千円 96,121 千円

事業概要：勘と経験に頼っていた真珠挿核技術から脱却し、アコヤ貝閉殻力計測等により貝の健康状態を制御した挿核手術法等の開発に取り組み、高品質真珠の効率的養殖技術の確立をめざします。また、アコヤ貝閉殻力を指標に、死亡率が低く真珠分泌能力の高い「スーパーアコヤガイ」の系統選抜育種を進めます。（10 真珠養殖研究会による研究開発・実証試験など）

（新）地域高度化農工連携研究開発プロジェクト可能性調査事業費

【基本事業名：51301 研究交流の推進】

（第 7 款 商工費 第 1 項 商工業費 8 科学技術振興費）

予算額： - 千円 4,218 千円

事業概要：最先端のスマートセンシングや MEMS（注 1）技術等を活用して、一次産業の技術の高度化などにつなげる農工連携実用化技術開発プロジェクトを展開するための可能性調査を実施します。（可能性試験 7 課題実施予定）

（注 1）MEMS（メムス、Micro Electro Mechanical Systems）：機械要素部品、センサー、アクチュエータ（駆動装置）、電子回路（LSI）を一つのシリコン基板上に集積化したデバイス。機械構造と電子回路が別なチップになるハイブリッドの場合も MEMS という。

（重）中小企業等知的財産活用支援事業費

【基本事業名：51302 知的財産に取り組む環境づくり】

（第 7 款 商工費 第 1 項 商工業費 8 科学技術振興費）

予算額： 4,812 千円 4,230 千円

事業概要：県内の中小企業等が、特許等の知的財産を活用し新規事業の創出や技術の高

度化を進めていくため、知的財産に関するマッチング支援や活用支援、相談窓口の充実などを行い、県内中小企業の知識集約化を促進し地域産業の振興をはかります。(ものづくり知的創造人材育成講座、知的財産活用セミナー、出前特許相談の開催等)

なるほどコミュニケーション推進事業費 【基本事業名：51303 科学技術への関心の増進】
(第7款 商工費 第1項 商工業費 8 科学技術振興費)

予算額： 2,667千円 2,400千円

事業概要：県民との幅広い交流を通じ、県の試験・研究に対する県民の理解増進や科学技術への関心を高めるとともに、県民からの意見を聴取するなど、コミュニケーションを一層進めることにより、県民が科学技術に親しむことができる風土の形成をめざします。(「子ども科学体験教室」夏休み開催、「出前科学体験教室」20校程度実施ほか)

畜産研究所施設整備事業費 【基本事業名：51304 科学技術基盤の整備】
(第6款 農林水産業費 第2項 畜産業費 3 畜産業試験研究費)

予算額： 595,674千円 885,697千円

事業概要：老朽化した畜舎等施設について、研究業務の効率化と周辺環境に配慮した整備を行い、地域に親しまれ、愛される施設となるよう、引き続き中小家畜舎の建築を行います。(豚舎2棟、鶏舎5棟、中小家畜管理施設3棟、平成20年8月完成予定)